

エビデンスをつかうを学ぶ 入門ワークショップ

—現場での取組み改善、効果的なプログラム開発、既存のプログラムの再構築のために—

近年、実証研究で得られた**エビデンスに基づく実践**(EBP: Evidence based practice)の重要性が広がっています。英国や米国では、教育・福祉・非行分野等でもEBPが行われ、**専門職のエビデンス・リテラシー**が求められています。そこで、エビデンスを見分け、つかうことができる**反省的実践家**を育てるワークショップを行います。

- ◆ 日 時：(1日目) 10月14日(日)10:00～17:00 (9:45受付)
(2日目) 10月28日(日)10:00～17:00 (9:45受付)
- ◆ 場 所：三菱UFJリサーチ&コンサルティング
東京都港区虎ノ門5-11-2(神谷町駅より徒歩3分)
- ◆ 定 員：30名程度 (2日間参加できる方を優先)
- ◆ 参加費：2日間 6,000円 *早期割引:8/31までのお申込は5,500円
- ◆ 講 師：津富 宏先生 (静岡県立大学教授)
- ◆ 主 催：Early Intervention 勉強会
- ◆ 協 力：三菱UFJリサーチ&コンサルティング
- ◆ 対 象：教育・福祉・保健・非行分野の実務家や
エビデンスに基づく実践に関心のある方等
※事例では、児童虐待・非行問題等を扱う予定です。
- ◆ 申込方法(先着順)：<https://eij-workshop2018.peatix.com>
右記のQRコードからも申込可能です。
※先着順のため、定員に達した場合は受付を終了致します。
※参加申込後のキャンセルは原則ご遠慮ください。



内 容：

- 【1日目】「つかう」意義と批判的吟味の基礎を学ぶ
 - ・エビデンスをつかうとは？なぜ、つかうのか？
 - ・現場での実践例の紹介
 - ・文献の探し方とエビデンスを見極める論文の読み方
- 【2日目】批判的吟味を身に着け、現場への適用を考える
 - ・批判的吟味の実践グループワーク
 - ・現場での適用



- * 事前課題：参考文献と論文をお読みいただきます (申込後にご案内)
※統計・データ分析に関するスキル・知識等はなくても問題ありません。

〈問合せ先〉 Early Intervention 勉強会 担当：西郷 (HITOTOWA)
early.intervention.japan@gmail.com

※Early Intervention勉強会とは、エビデンスの収集・整理、情報提供、研修などを通じて、子どもや家庭に関する問題への早期介入を目指す有志の取組みです。